

A7 海域（有明海湾口部）の問題点と原因・要因の整理

【有用二枚貝の減少】

1 アサリ

① 現状と問題点の特定

アサリはA7海域（長崎県島原半島沿岸）で1985年に263tの漁獲を記録したが、1988年以降は80t以下で推移した。2009年に166t、2010年に156tを記録したものの、その後再び減少し、2013年は9tとなっている。

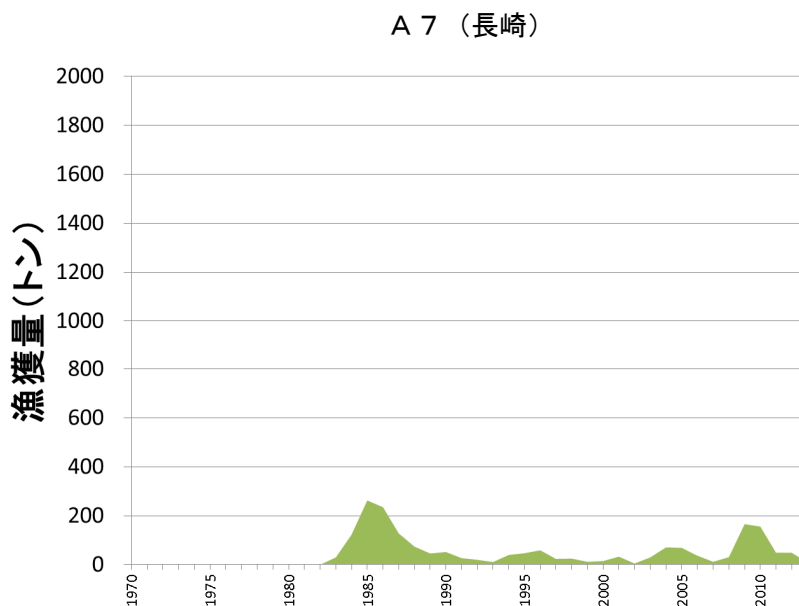


図1 A7海域のアサリ漁獲量の推移

農林水産統計より整理

② 要因の考察

本海域は岩礁性の海岸線が多いため、アサリの生息に適した砂質干潟の面積が小さい。このため漁獲量が少なく、アサリが生息する干潟の環境調査や資源調査もほとんど実施されていないため、資源変動要因については考察できない。